

# 船橋 YMCA 通信



No. 134 2026年7月1日

編集 一般財団法人千葉YMCA船橋地域デポ 発行人 榎一光

## 千葉YMCA定期総会

一般財団法人千葉YMCAの第55回定期総会は、6月13日(土)に千葉センターで開催されました。

総会は、出席者27名、委任状による出席58名の計85名で総会構成員112名の1/3以上の出席を得て成立しました。

議事1. 2025年度事業報告及び収支決算報告並びに監査報告、議事2. 2026年度事業計画及び収支予算、議事3. 2026年度常議員の選出の3つの議事も満場一致により可決承認されました。



《議事1. の説明をする山添総主事》

2026年度事業計画の中では、千葉市より指定管理者として運営を受託している「千葉市少年自然の家」は前年度に利用者数年間目標の9万人を達成したので今年はさらなる利用者の獲得に取り組むこと、千葉市千城台みらい小学校、千葉市千城台東小学校の各アフタースクールの安定した保育を行うことが示されました。また、2026年4月に千葉本町教会のこひつじほ～るを利用して開所した「YMCAキッズルーム@こひつじ」は入所者4名でのスタートとなったが鋭意募集をかけて年度末には10名とする目標が示されました。



《こひつじほ～るの看板》

千葉YMCAでは、常議員の任期は2年で毎年その半数が入れ替わります。総会で7名の方々が向こう2年間常議員として活動されることが承認されました。

議事終了後、今年度のリーダー委嘱者25名の代表として4名のリーダーに岸理事長から委嘱状が交付されました。



《岸理事長から委嘱状を受けたリーダー代表4名》

総会後半の会員のつどいでは、千葉YMCAに職員として入職し、その後東京YMCA総主事、千葉YMCA前総主事を勤めた廣田光司氏から「私のYMCA」と題して講演を頂きました。

講演の中で廣田氏は、千葉YMCAの財政規模（2024年度）は全国に35あるYMCAのなかで18番目であるが、行政からの受託事業が86%を占めており、今後の運営における大きな課題であるとの指摘をされました。

YMCAブランドスローガンの「みつかる。つながる。よくなる。」のなかで、YMCAとしての発信力を高め社会とつながり、学童保育やリーダー養成で若者とつながること、そして他団体・行政とのつながり、教会とのつながりが大切であると語られました。

最後に、参加者が複数のグループに分かれて「私のYMCA」について各人が思いを語り合いました。すてきなお話をしてくださった廣田氏に感謝申し上げます。



《講演される廣田光司氏》

総会終了後には、講師の廣田氏とともに出席者全員で集合写真を撮りました。



《総会出席者の集合写真》

## 今年のチャリティーラン

第29回千葉YMCAインターナショナル・チャリティーランは、10月31日(土)に船橋市運動公園で開催することで計画を進めています。陸上競技場の空きスケジュールの関係で10月末開催となり寒さ対策が必要になるかもしれませんが、前年同様に天候が良くなることを期待しましょう。

以下に昨年の大会の写真を掲載します。



《アーチがなくなったので横断幕でアピール》



《リーダーたちは車いすで駅伝にチャレンジ》



《第28回大会の集合写真》

### 編集後記

今年のチャリティーランも、昨年と同様に例年より1か月遅い開催になるので、参加者の皆さんは寒さ対策をお願いします。(槇)